

復興記念館について

1922(大正11)年、東京市は陸軍被服廠の移転に伴い、跡地を買収し公園の造成を進めていました。その最中に発生したのが、翌1923(大正12)年の関東大震災でした。このとき、周辺の人々が被服廠跡に避難しましたが、運び込まれた家財道具を伝って火が広がり、38,000人以上の死者が出ました。

東京市では、これらの遭難者の霊を供養し、さらに東京を復興させた大事業を記念するために、公園内に震災記念堂(現:東京都慰霊堂)と震災復興記念館(現:東京都復興記念館)を建てました。

1931(昭和6)年に開設された復興記念館には、当時の状況を伝える絵画、写真、図表、震災の記念遺品などが展示されました。

その後、第二次世界大戦の空襲により焦土と化した東京でしたが、再び復興に向けて立ち上がり、今日の繁栄を築きました。

復興記念館では東京空襲の歴史と当時の状況を伝える写真、図表などの展示と共に戦災復興に向けた取組みも紹介しています。



設立／1931(昭和6)年8月18日開館
延床面積／1,177㎡
構造／鉄筋コンクリート造

Access



- JR総武線両国駅
西口より徒歩10分
- 都営地下鉄大江戸線両国駅
A1出口より徒歩2分
- 都営バス【都02】【門33】バス停
「石原一丁目」より徒歩1分

入館料無料

※職員による館内ガイドや身障者用駐車場の
ご利用をご希望される方は、事前にご連絡
ください。

住所／〒130-0015 東京都墨田区横網2-3-25
TEL／03-3622-1208(横網町公園管理所)
定休日／毎週月曜日(休日の場合は翌火曜日)、12月29日～1月3日
開館時間／9:00～17:00(入館16:30迄)

ご来館の皆様へ

- ・展示資料に手を触れないでください。
- ・館内での飲食・喫煙、動植物(ペット)の持込は禁止です。
- ・大きな荷物の持込はできません。コインロッカー(無料)等をご利用ください。
- ・館内での大きな声での会話、携帯電話の通話はご遠慮ください。
- ・未就学児の入館は保護者の方の同伴が必要です。
- ・災害発生等の緊急時は職員が避難誘導を行います。必ず指示に従ってください。
- ・安全・防犯の妨げとなる行為、他の入館者の迷惑となる行為を発見した場合、職員が注意を行う場合があります。

緩む心のねちをまけ
(大正十三年 大震災記念日標語より)

ご来館の記念にスタンプを押してください。

公益財団法人 東京都慰霊協会
＜横網町公園ホームページ＞ <https://tokyoireikyokai.or.jp>



東京都復興記念館

1階 + 屋外ギャラリー

関東大震災の発生から復興

1階展示室には、関東大震災当時の写真、図表、実物資料を展示しています。

また、タッチパネルを操作して資料を閲覧できる震災写真マップ、作文朗読コーナー等、立体都市模型に映像を投影する都市復興プロジェクション、震災に関する動画を上映する映像コーナーもございます。

屋外には「震災記念屋外ギャラリー」があり、建造物の一部や自動車など大型被災物を展示しています。



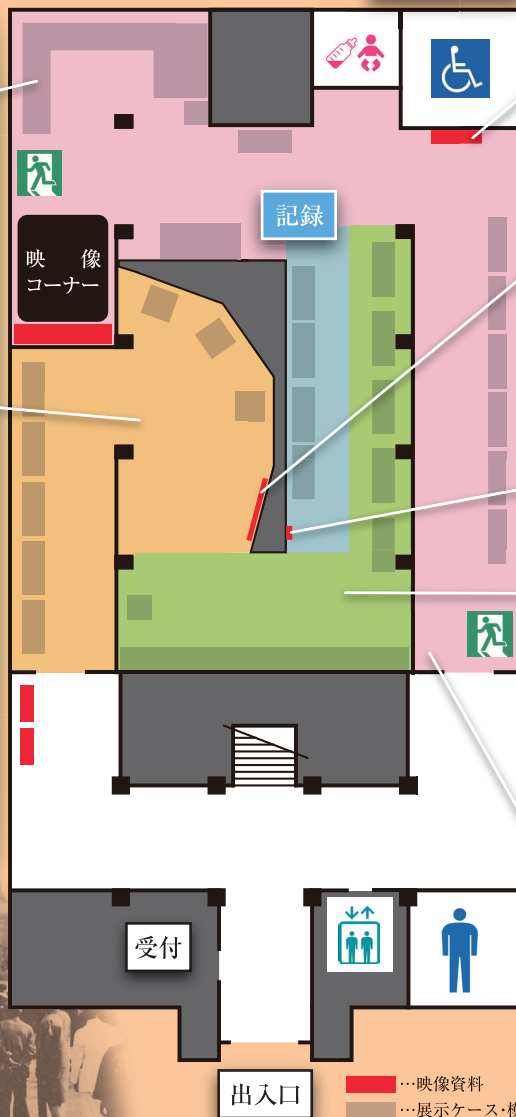
震災の脅威を語る大型被災物



関東大震災の復興事業



震災記念屋外ギャラリー



震災写真マップ



都市復興プロジェクション



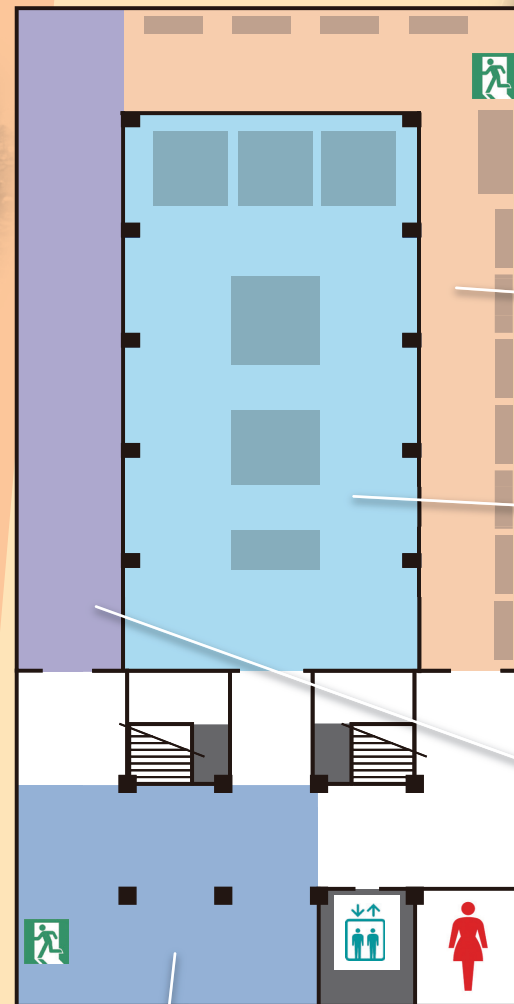
作文朗読コーナー



避難の様子・救援救護活動



関東大震災の発生と被害状況



東京空襲に関する展示



中央展示室(大型震災絵画・模型等)



企画展示コーナー



ホール(大型震災絵画等)

関東大震災を描いた絵画・復興大模型 東京空襲・戦災復興に関する資料

2階ホールおよび中央展示室には、関東大震災を描いた絵画や復興大模型を展示しており、「東京市五千分の一模型」の3Dモデル化した動画も視聴可能です。

回廊部分には、東京空襲及び戦災復興に関する資料を展示しています。

また、企画展示コーナーでは関東大震災、東京空襲等に関する様々な展示を期間を設けて行っています。

2階